１月　結婚記念日　おめでとうございます

1月 3日　宮本倫明会員ご夫妻

今月お誕生日を迎えられる会員各位

★新年互礼会
年男の会員の皆様より、
お言葉をいただきました。

１月度定例理事会議事録

1.三姉妹親善訪問について、現在1月25日まで参加者を募集している段階。参加者確認後、台中西南RCクラブと3者LINEを活用し打合せ予定と段委員長から報告された。
2.大和育成園での社会奉仕活動について、ハード面として、昨年11月末に地区補助金を活用し施設内温水ヒーター設備が施工された。次にソフト面として、5月（GW後）に北橋元会長によるオムライス教室を開催予定と福田会長から報告された。
3.テーブル副マスター制度について、現状テーブル懇親会が活況となっており、テーブルマスターを年次の若い会員を指名することにより、同一会員が指名されてしまうこととなっている。そこで、今後も活況にテーブル懇親会をするためにテーブル副マスターを新たに制定することが承認された。
4.道頓堀リバーフェスティバルの事業協賛金について、今年度より同事業主催者より協賛金の請求を希望されたことに伴い協議を行う。今後も事業者に交渉のうえ継続協議事項とする。
5.第二回友好ゴルフコンペについて、日程を4月5日（金）～6日（土）にザ・サイプレスゴルフクラブにて開催することが承認された。
6.献血事業について、恒例となっている献血について、今年度は3月18日（月）～24日（日）に開催することが承認された。
7.ロータリー手帳について、毎年提供されている同手帳について、昨今のSDGsや予算の観点から希望者のみに提供することが承認された。
8.第二回新入会員歓迎会について、3月14日（木）に開催されることが承認された。

これからの予定

1月25日（木）例会
1月27日（土）地区財団補助金管理セミナー　2月 1日（木）例会・定例理事会
2月 3日（土）ＩＭ４組ロータリデー及びフレッシュロータリアン研修交流会
2月 8日（木）例会　2月15日（木）例会
2月18日（日）立春歌舞伎鑑賞会　2月22日（木）休会

２０２４．１．１８　№２２１３

WEEKLY BULLETIN

OSAKA NAMBA

大阪難波ロータリークラブ週報

世界に希望を生み出そう

国際ロータリー会長　ゴードンＲ．マッキナリー
２０２３-２０２４年度　国際ロータリーのテーマ
「世界に希望を生み出そう」
（第2660地区ガバナー　延原　健二）

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー４つのテスト
１月１８日（木） テーマ　職業奉仕月間卓話 「職業奉仕について テーブルディスカッション」 卓話者　森田納職業奉仕委員長	１月２５日（木） テーマ　「自己紹介」 卓話者　延生隆廣会員 菊川直紀会員	言行はこれに照らしてから １．真実かどうか ２．みんなに公平か ３．好意と友情を深めるか ４．みんなのためになるかどうか

第２５回例会　　本日のプログラム

開　会　（点鐘）　通算第２２１３回例会
・ロータリーソング「限りなき道ロータリー」
・ソングリーダー　山川正時会員
・来客紹介　友好委員
・ストレッチ

会　食
・歌とピアノ　木下裕子
・会長報告　福田　忠会長
・幹事報告　森　圭司幹事
・委員会報告　各委員長
・出席報告　出席委員
・ニコニコ箱報告　ＳＡＡ

閉　会　（点鐘）

♪限りなき道ロータリー

奉仕の理想　胸にひめ
友情花と　咲かせつつ
生きよう　今日も　ニコニコと
ひとすじの道　ロータリー
限りなき道　ロータリー

ニコニコ箱報告	
前回の合計	￥２６５，０００
本日までの累計	￥２，５７７，０００（107%達成）
1月末の予算額	￥２，３９０，０００

出席報告		
前回　１月１１日		3週前　１２月7日
会員総数	７２名	出席免除を除く ＭＵを含む 修正出席率82.08％
出席会員数	５１名	
出席率	７６％	

大阪難波ロータリークラブ　例会日時　毎週木曜日　１２：３０
創立　１９７６年８月５日　例会場　スイスホテル南海大阪7階　芙蓉の間
会長：福田　忠　幹事：森　圭司　会報・雑誌委員長：川浦文彦　事務局：安部亜希子
事務局　〒542-0076　大阪市中央区難波5-1-60　スイスホテル南海大阪５階
TEL　06-6632-3956　FAX　06-6632-3957　e-mail　osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

１月は「職業奉仕月間」です

前回の記録　　第２４回　１月１１日（木）

★来客紹介：秋田友好委員

大阪心斎橋ＲＣ
佐伯良一様

★会長報告：福田会長

1. 元日におきた能登半島地震ですが、４日に大地元会長よりお電話を頂きました。友好クラブである石川県能登町の内浦ＲＣ様が被災された件です。直後、私が真っ先に思いましたのは宝達志水町(北橋元会長のご出身)しか思い浮かばず、恥ずかしながら内浦ＲＣ様が石川県のどの位置にあるのかさえも、詳しく分かっていませんでした。※北橋元会長の所は建物等の倒壊は大丈夫です、やわらぎの郷も。しかし断水は続いています。
輪島などの被害状況はＴＶなどで見ていましたが、他の奥能登の得られる情報はＸとFacebookのみでした。そんな中、内浦ＲＣの幹事をされておられる吉田義法さまがFacebookをしておられ、５日にそちらで二度ほどメッセージのやり取りは出来ました。こちらから送りましたのは「まだそちらも被害の全容が見えないと思われます、また私どもでお手伝い出来る時が来ましたら」という内容です。ご丁寧に「お気遣いありがとうございます。痛み入ります。」とお返事ありましたこと、ご報告させて頂きます。

内浦ＲＣ様は能登町商工会内浦支所会館で例会をしておられ、事務局もそちらにございます。最初は停電の為、電話が鳴らなかったのですが昨日１０日に事務局の浜頭（はまがしら）さまと電話が繋がり、ある程度お話が出来ました。その時のお話は、電気は７日(日)にやっと通って今片付けをしているが建物は傾いている。断水は続いていてそちらの復旧には数か月かかる模様。今、内浦ＲＣは会員１８名で会員・ご家族共に、小さいケガをされている方はいるかも分からないが生命は大丈夫。能登町でお亡くなりになったと判明しているのは２名。浜頭さまは商工会の職員だがＲＣの事務局を兼任しており勤務歴も古い為、大阪難波ＲＣの事はご存じです。しかしながらクラブ内ではもう２名の会員の方しかいない。大阪に大相撲を見に行ったと記憶している。との事でした。浜頭さま自身３日間金沢に避難されていて、行き７時間かかったそうです。
まだまだ復興には時間がかかるとは思いますが、当クラブで出来ること、出来る時期を考え、何かお役に立てればと思います。
2. 被災地に支援物資を送る中で、いらない物、送ってもらっても困るものリストとして◆寄せ書き、調理が必要なもの(お米等)、辛いラーメン、周波数の違う家電(洗濯機、電子レンジ、蛍光灯照明器具など)、生鮮食品、季節外れの服など。逆に欲しいものは◆水、ガスボンベ・コンロ、ラジオ(乾電池)、長靴、雨具だそうです。特にいらない物No.1は千羽鶴。それでは飢えも渇きも凌げない上に、古くなっても捨てるに捨てられないとの事。現時点での優先順位の問題で、もし千羽鶴を送られる方は、現場が落ち着いて被災者の方が全員無事に生活ができるようになってから送るようにすれば良いと思います。

★幹事報告：森幹事

1. 本日例会終了後、定例理事会を開催させていただきますので、理事役員の方はご出席ください。
2. 下期会費と周年積立金の請求書を入れさせていただいております。お振込みいただきますようお願いいたします。
3. 例会場変更のお知らせです。来週は８Ｆで行いますのでよろしくお願いします。

★委員会報告
◇友好委員会：宮本委員長
3月17日(日)大阪城リレーマラソン2024ご案内
9:00集合　10:00スタートとなります。

★ニコニコ箱報告：段副SAA

大阪心斎橋RC佐伯良一様：明けましておめでとうございます。久しぶりに寄せて頂きました。これも岡本様のご縁です。感謝！
福田　忠：謹賀新年、明けましておめでとうございます。今年度後期も一歩ずつ丁寧なクラブ運営を心掛けてまいります。皆様お力添えの程よろしくお願いいたします。
森　圭司：新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。
北橋茂登志：誕生日自祝。本年もよろしくお願いいたします。
大地庸元：新年あけましておめでとうございます。
北田好文：新年を迎えて。今年もよろしくお願い致します。誕生日、自祝1/8。
千田忠司：明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。又、年末のカウントダウン皆様にご協力頂きありがとうございました。岡本真一郎様、多額の協賛に感謝。
白野陽一：誕生日、自祝。
白野陽一：新年あけましたが能登地震です。皆で何か支援を考えて行きましょう。
伴井敬司：新年おめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
西野文秀：本年も皆様よろしくお願いいたします。
岡西豊博：福田会長、森幹事、理事役員の皆様、会員各位の皆様、本年もよろしくお願いいたします。
西原芳博:明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
川口栄計：新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。
林　博之：明けましておめでとうございます。今年も宜しくお願いします。
石川益三：新年おめでとうございます。本年もよろしく。
伊藤　仁：皆様、新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いします。
久保幸一：新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。
松浦孝尚：あけましておめでとうございます。
中川静夫：あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。
立花英司：新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。
網干康史：新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
松田禎胤：新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
森田　納：あけましておめでとうございます。
清水一人：あけましておめでとうございます。
右田竹郎：明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。
鉄﨑　薫：新年おめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。
三島敏宏：旧年はお世話になり有難うございます。本年も宜しくお願い致します。
早栗義文：今年一年が素晴らしい年になりますように。
中井政嗣：新年を迎えて。
荒山義雄：明けましておめでとうございます。良い年になりますように。
岡本真一郎：甲(きのえ)辰年、本年も宜しくお願い致します。佐伯様、初例会臨席有難うございます。
宮本倫明：新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。
川井宗次：新年あけましておめでとうございます。今年も宜しくお願い致します。
藤原秀之：新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。
飛田了介：能登半島地震のお見舞いと、本日日経平均33年11か月ぶりの35000円台自祝！
山川正時：新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
川浦文彦：2024年よろしくお願いいたします。
河内　理：明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
松井　潤：明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
上江ひとみ：明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。
河井美由紀：新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。
前田文恵：新年おめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。
大塚哲平：新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。
田中浩弥：新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

★大阪難波ＲＡＣへのニコニコ箱報告

福田　忠：新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。1月クリーンハイク、2月地区献血と寒い中での行事が続きますが、頑張って行きましょう！
北田好文：ＲＡＣの皆様、今年も頑張って下さい。
西野文秀：おめでとうございます。今年もよろしく。
川口栄計：新年あけましておめでとうございます。本年も頑張って下さい。
石川益三：今年も頑張って下さい。
徐　正萊：年末の太鼓の搬入搬出ご苦労様でした。約束通り1万円入れておきます。
松浦孝尚：あけましておめでとうございます。
森田　納：あけましておめでとうございます。
清水一人：あけましておめでとうございます。

累計　￥３４４，０００

【RI会長エレクトが2024-25年度会長テーマを発表】

RIのステファニー・アーチック会長エレクトが2024-25年度テーマ「ロータリーのマジック」を発表しました。「誤解しないでください。私たちは魔法の杖を振って呪文を唱えるだけでポリオを根絶したり、世界に平和をもたらしたりするわけではありません。それは皆さん次第です。プロジェクトを終えるたび、寄付するたび、新会員を迎えるたびに、皆さんはマジック（魔法）を生み出すのです」

ロータリーのマジック　　THE MAGIC OF ROTARY

２０２４～２０２５ＲＩテーマ

秋田豪雨災害支援金の御礼と報告について

国際ロータリー第2540地区
ガバナー　淡路　　徹

この度の秋田豪雨災害は、記録的大雨により全県25市町村の6割が災害救助法適用となるなど、深刻な被害をもたらしました。一刻も早い復旧を図るため全地区へ災害支援金を要請しましたところ、各地区をはじめ多くの有志のロータリアンの皆様から迅速な善意が寄せられました。

支援金は、最も被害が大きく生活再建支援法の指定となった秋田市へ10月18日に2,300万円、同じく五城目町に　1,100万円を贈呈致しました。さらに、11月17日からは災害救助法指定の12市町村へ順次、各100万円を贈呈しているところであります。11月末日現在の支援金総額は、50,454,258円にのぼりました。改めて心より御礼申し上げます。

残高は、秋田県社会福祉協議会が創設予定の「災害活動支援基金（仮称）」に贈呈する予定です。

いまだ被災者は生活再建も道半ばで、秋田は厳しい冬を迎えようとしております。皆様の温かいご支援、ご協力に厚く感謝を申し上げ、報告とさせていただきます。

記録的大雨 被災地支援

秋田、五城目に計3400万円

県内外ＲＣの寄付贈る

7月の記録的大雨で被災した地域を支援しようと、県内のロータリークラブ（RC）でつくる国際ロータリー第2540地区（淡路徹ガバナー）は18日、秋田市に2300万円、五城目町に1100万円をそれぞれ寄付した。

同RCは県内各地の大雨被害を受け、8月に県内外のRCに支援を依頼。約4700万円が集まった。秋田市と五城目町分を除いた1300万円は、両市町以外の大雨被害を受けた13市町村に100万円ずつ寄付する予定。秋田市役所を訪れた淡路ガバナーは「全国8万3千人強のロータリアンから集まった浄財。被災された方々のために役立ててほしい」とあいさつした。目録を受け取った穂積志市長は「日常生活を取り戻せるように使わせていただく」と述べた。

五城目町役場でも淡路ガバナーが目録を贈呈。渡辺彦兵衛町長は「被害を受けた町民の生活再建は道半ば。復興に向けて浄財を有効に活用したい」と話した。（三浦正基、菊地隆秀）

穂積市長に目録を手渡す淡路ガバナー（右）